

障害福祉サービス事業者
各法人代表者
各事業所・施設長 様

北九州市保健福祉局
障害福祉部長 戸島 光義

計画相談支援等におけるサービス等利用計画等及びセルフプラン

作成促進のための利用者への支援について(お願い)

平素から、本市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 24 年 4 月に施行された障害者自立支援法（現：障害者総合支援法）等関係法令の改正により平成 27 年 4 月以降の障害福祉サービス利用等の新規・更新の支給決定にあたっては、原則全ての対象者にサービス等利用計画等の作成が必要となります。

本市におきましては、計画を作成する相談支援事業所の拡充など体制整備に努めてきたところですが、平成 26 年 12 月末時点での計画作成率は約 28%にとどまっており、相談支援事業所及び相談支援専門員の数は、全ての計画作成対象者(平成 27 年度で約 10,000 人)に対応するには、十分とは言えない状況となっています。

このため、本市では、平成 27 年 4 月以降の支給決定時にサービス等利用計画が作成されていないことによって、利用者のサービス利用に影響が出ないよう、当面の措置として、本人が希望する場合や相談支援事業所が見つからない場合に、サービス等利用計画書に代わるものとして認められている本人や家族等が作成する『セルフプラン』を利用者に紹介し、本人の希望を確認のもと、セルフプランの作成促進を図っていくことといたしました。

つきましては、お手数をおかけし大変恐縮ですが、平成 27 年度更新分に関する暫定的な対応として、貴事業所等の利用者のサービス等利用計画等及びセルフプランの作成促進に向けた利用者への支援について、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

〒803-8501

北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

北九州市保健福祉局障害福祉部障害福祉課

計画相談担当：有永、印^{いん} 電話：093-582-2424

事業所のみなさまにご協力をお願いしたいこと

貴事業所のサービス利用者のサービス利用形態によって、お願いしたい内容が異なります。

1 利用形態の区分

ケース1

- (1) 利用者が貴事業所のみサービスを利用している場合
- (2) 利用者が複数の事業所からのサービスを利用している場合で、当該事業所の運営が貴法人与同一法人のみの場合

ケース2

- (1) 利用者が貴法人与異なる貴事業所以外のサービスも利用しており、全部のサービス利用状況の把握が困難な場合
- (2) その他の理由により、貴事業所において利用者本人へのセルフプランの作成支援が困難な場合

2 お願いしたい内容

ケース1の場合

- (1) 貴事業所の障害福祉サービス利用者への制度改正(計画作成義務付け)とセルフプランの説明

【対象者】

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に、現在のサービス支給期間が終了し、更新の支給決定を必要とする貴事業所のサービス利用者(ただし、既に相談支援事業所によるサービス等利用計画等を作成済又は作成予定の利用者は除きます。)

なお、サービス内容の変更を予定・希望されている利用者については、セルフプランではなく相談支援事業所が作成するサービス等利用計画が原則必要となりますので、お早めに区役所(保健福祉課高齢者・障害者相談コーナー)へご相談していただくよう利用者への助言をお願いします。

※今回、事業所にご協力をお願いするのは、平成27年度更新分に関するものです。

【説明内容】

別紙2「北九州市の障害福祉サービスをご利用のみなさまへ」(市からのお知らせ)【ケース1】を用いて、下記の内容を利用者にご説明ください。

- ① 平成27年4月以降の支給決定時(新規・更新)に、相談支援事業所等が作成するサービス等利用計画の作成が法律で義務づけられたこと。(更新手続きに計画書が必要となったこと。)
- ② 利用計画は利用者本人が、利用計画の作成を行う民間の「相談支援事業所」と契約して計画の作成を依頼する必要があるが、現在、市内の相談支援事業所の数が十分でないため、相談支援事業所をすぐに見つけることが難しい状況になっていること。
- ③ なお、相談支援事業所が見つからない場合や本人が希望する場合は、例外的に、本人や家族等が作成する比較的簡素な「セルフプラン」での提出が認められていること。
- ④ このため、早めに、相談支援事業所を探して計画作成を依頼するか、それが難しい場合は、本人や家族がセルフプランを作成することが必要なこと。
- ⑤ セルフプランの作成を選択するかどうかは本人の希望によるが、セルフプランの作成方法について不安があれば、サービス提供事業所の方から作成について支援を行ってもらうよう北九州市から事業所に協力の依頼があっていること。

(2) セルフプランの作成にあたっての利用者への支援及び区役所への提出

利用者へ上記(1)の説明を行ったうえで、

- ① 利用者にセルフプラン作成についての意向を確認し、
- ② 利用者がセルフプランの作成を希望する場合は、利用者への下記の支援をお願いします。

※セルフプランは簡潔な様式であるものの、本人や家族では作成が難しい場合が考えられます。
事業所等の皆様には下記の事項について、ご協力いただきますようお願いいたします。

- 「別紙 セルフプラン様式①及び様式②」の記入について、本人の意向を踏まえながら、利用者への作成支援のご協力をお願いします。
- 作成したセルフプランについて、作成補助者欄に、氏名、事業所名、電話番号を記入し、利用者確認欄に、本人の自署または印鑑を押印してもらってください。
- 恐れ入りますが、完成したセルフプランを、別紙4の「セルフプラン・個別支援計画送付票」を付けて、利用者の住所地の区役所保健福祉課高齢者・障害者相談コーナーへご提出くださいますようお願いいたします（郵送可）。

※利用者本人が区役所に更新の手続きに来庁された際に、事業所から提出いただいたセルフプランを使用させていただきます。

※「1 利用形態の区分 ケース1 (2)」の「複数の事業所からのサービスを利用している場合で、当該事業所の運営が貴法人と同一法人のみの場合」については、法人内で主となる事業所を決めていただき、当該事業所がセルフプランを作成し、区役所へ提出していただきますようお願いいたします。

(3) セルフプランの区役所への提出時期

- ① 更新の有効期限が6月末までの方が大変多くなっています。（全体の約半数）
- ② このため、区役所へのセルフプランの提出は、有効期限が6月末までの方を優先し、その後順次、有効期限順に、下記のスケジュールで、ご提出くださいますようお願いいたします。

■セルフプランの区役所への提出時期

利用者のサービスの有効期限(更新期限)	事業所から区役所へのセルフプランの提出期限
平成 27 年 4 月末まで	平成 27 年 3 月末
平成 27 年 5 月末まで	
平成 27 年 6 月末まで	
平成 27 年 7 月末～平成 28 年 3 月末まで	有効期限の 2 ヶ月前

※区役所への提出は、提出期限に関わらず、できるだけ早期に提出いただけると助かりますので、ご協力をよろしくお願いします。

ケース2の場合

(1) 貴事業所の障害福祉サービス利用者への制度改正(計画作成義務付け)とセルフプランの説明

【対象者】 ケース1と同じです。

【説明内容】

別紙3「北九州市の障害福祉サービスをご利用のみなさまへ」(市からのお知らせ) 【ケース2】を用いて、下記の内容を利用者にご説明ください。(※①～④はケース1と同じです。)

- ① 平成27年4月以降の支給決定時(新規・更新)に、相談支援事業所等が作成するサービス等利用計画の作成が法律で義務づけられたこと。(更新手続きに計画書が必要となったこと。)
- ② 利用計画は利用者本人が、利用計画の作成を行う民間の「相談支援事業所」と契約して計画の作成を依頼する必要があるが、現在、市内の相談支援事業所の数が十分でないため、相談支援事業所をすぐに見つけることが難しい状況になっていること。
- ③ なお、相談支援事業所が見つからない場合や本人が希望する場合は、例外的に、本人や家族等が作成する比較的簡素な「セルフプラン」での提出が認められていること。
- ④ このため、早めに、相談支援事業所を探して計画作成を依頼するか、それが難しい場合は、本人や家族等がセルフプランを作成することが必要なこと。
- ⑤ セルフプランを希望する場合は、区役所で現在利用している障害福祉サービスの更新手続きを行う際に、本人や家族等がセルフプランの記入、作成を行うことになること。
- ⑥ その際、現在利用している障害福祉サービスの個別支援計画(写)を事前に区役所に提出することによって、更新手続きを簡略化することができること。
- ⑦ このため、利用者本人がセルフプランの作成を希望する場合、本人の同意のもと、事業所から区役所へ個別支援計画(写)を提出することについて、北九州市から事業所に協力の依頼があっていること。

(2) 個別支援計画(写)の区役所への提出

利用者へ上記(1)の説明を行ったうえで、

- ① 利用者にセルフプラン作成についての意向を確認し、
- ② 利用者がセルフプランの作成を希望する場合は、個別支援計画(写)を区役所に提出することへの同意(口頭で可)を得た上、下記のご協力をお願いします。

➤ 利用者の住所地の区役所保健福祉課高齢者・障害者相談コーナーへ既存の個別支援計画(写)をご提出くださいますようお願いいたします(郵送可)。

※ 提出いただいた個別支援計画(写)は、ご本人が区役所で更新手続きをされる際に作成するセルフプランの様式②(週間計画)の資料として活用させていただきます。

(この資料の添付により、セルフプラン作成の簡略化を図ります。)

※また、区役所から障害福祉サービス事業所へ個別支援計画(写)の送付を依頼させていただくことがありますので、その際はご協力をよろしくお願いします。

(3) 個別支援計画（写）の区役所への提出時期

- ① 複数サービスの利用者については、直近のサービスの更新時にセルフプランを作成する際、利用している全てのサービスの個別支援計画（写）が必要となります。
- ② このため、貴事業所で提供しているサービスの更新時期が比較的先のものについても、お手数ですが、下記のスケジュールで、早期にご提出くださいますようお願いいたします。

■個別支援計画（写）の区役所への提出時期

利用者のサービスの有効期限(更新期限)	事業所から区役所への 個別支援計画（写）の提出期限
平成 27 年 4 月末まで	平成 27 年 3 月末
平成 27 年 5 月末まで	
平成 27 年 6 月末～平成 28 年 3 月末まで	平成 27 年 4 月末

3 その他

有効期限が平成 27 年 6 月末以降の方への区役所から本人へ郵送する更新手続きのお知らせ（平成 27 年 3 月下旬以降に発送予定）には、今回の制度改正及びセルフプランでの対応に関するお知らせ（案内文）を同封する予定です。

※なお、4 月末、5 月末有効期限の方への更新手続きのお知らせ（有効期限の約 3 ヶ月前に発送）には、制度改正及びセルフプランでの対応に関するお知らせ(案内文)は入っていないので、利用者への説明時にはご注意ください。（これらの方へは、区役所での更新手続き時に改めてご説明いたします。）

4 添付資料（様式等）

- (1)別紙 1 「事業所の方へ協力依頼する内容と事務の流れ（フロー図）」
- (2)別紙 2 「北九州市の障害福祉サービスをご利用のみなさまへ～制度改正とセルフプラン作成についてのお知らせ」【ケース 1】
- (3)別紙 3 「北九州市の障害福祉サービスをご利用のみなさまへ～制度改正とセルフプラン作成についてのお知らせ」【ケース 2】
- (4)別紙 4 「セルフプラン・個別支援計画送付票」
- (5)別紙 「セルフプラン様式①、②」
- (6)参考 「障害福祉サービス等の新規申請・更新申請に伴うサービス等利用計画等の作成について」
「相談支援事業所情報（平成 27 年 2 月 1 日現在）」

※上記様式は、北九州市のHPからもダウンロードすることができます。

[トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [福祉・人権](#) > [障害者支援](#) > [「サービス等利用計画」「障害児支援利用計画」について](#)

5 セルフプラン・個別支援計画(写) 送付先（区役所の住所）

区	郵便番号	住所	TEL	FAX
門司区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	801-8510	門司区清滝一丁目 1-1	321-4800	321-4802
小倉北区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	803-8510	小倉北区大手町 1-1	582-3430	562-1382
小倉南区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	802-8510	小倉南区若園五丁目 1-2	952-4800	923-0520
若松区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	808-8510	若松区浜町一丁目 1-1	751-4800	751-0044
八幡東区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	805-8510	八幡東区中央一丁目 1-1	671-4800	662-2781
八幡西区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	806-8510	八幡西区黒崎三丁目 15-3	645-4800	642-2941
戸畑区役所保健福祉課 高齢者・障害者相談コーナー	804-8510	戸畑区千防一丁目 1-1	881-4800	881-5353